

# 農水省が期待の果樹新品種 良食味をいち早く

## 甘さ、食べやすさの需要に応える

農林水産省が現場への導入が期待される成果をまとめた「最新農業技術・品種2023」では、需要に応える果樹新品種として、農研機構育成の「スモモ「ハニート」」と「ほろすけ」を選定した。いずれも既存品種より早い時期から収穫でき、甘さや食べやすさなど消費ニーズに対応した付加価値を備える。

## 高糖度で7月中旬の収穫 スモモ ハニート

酸味が少なく高糖度の「ハニート」と同時期。糖度は15%程度、酸味はpH4.4程度。果実は球形で、果皮が好む消費者嗜好に対応できる。育成地(茨城県つくば市)の収穫時期は7月中旬ごろで、主要品種「ソルダム」より約10日程度早い。今後は、苗木の供給が予定され、西日本の産地を中心に60%程度の普及が期待される。

## 渋皮むきやすくホクホク クリ ほろすけ

早生の二ホンクリ品種で、渋皮をむきやすい性質を持つ。育成地(茨城県つくば市)での収穫期は同じく、渋皮がむきやすい「ほろすけ」よりも1週間程度早い。8月下旬～9月上旬。ほろすけと同様に全国的に流通が期待されている。鬼皮の上から果肉に達する程度。1樹当たりの収量は、りんごよりやや強く、丹沢と同程度。樹勢は中程度で、ほろすけよりもややコンパクトな樹形が特徴。丹沢と同様に、収穫期間が限られ、同様の特性を持つ品種開発が待たれていた。



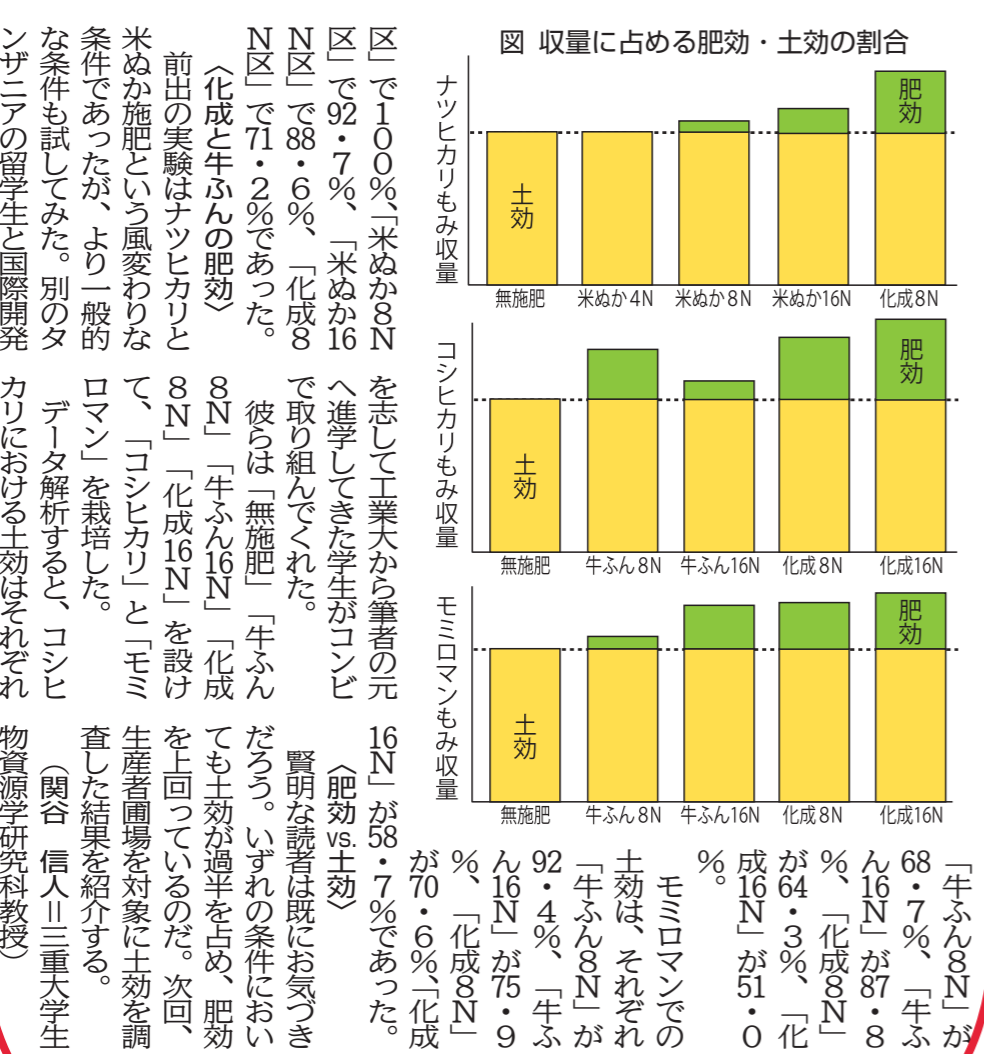
ぼろたん ぼろすけ 丹沢

中心に輪紋が発生しやすく、成熟後に降雨が多いと裂果が多くなる可能性がある。スモモの主要品種は酸味が強く、現在の消費者嗜好に合わず、生産が大きく減少している。既存の酸味が少ない品種は中生以降が主流だった。同省は、スモモの流通前に市場からの需要に応える国産果実と評価して品種を選定している。

## 水稲の無施肥試験で知る 田んぼの土効

連載第1回では、無施肥区により肥効を測ることができた。今回は、無施肥区と各種肥料区との比較から、土効の割合を明らかにする。

## 2 肥効の実態 収量の過半を土壌由来が支える



「土効」は、無施肥区と各種肥料区との比較から、土効の割合を明らかにする。無施肥区は100%、米ぬか8N区は92.7%、米ぬか16N区は88.6%、化成8N区は71.2%、化成16N区は58.7%であった。これは、土壌由来の養分が収量の過半を支えていることを示している。

## 高畝で排水対策 株間を広く

山梨県南都賀郡 身延町西嶋の中山間地(標高818m)は水稲の栽培が難しく、排水対策が重要。高畝栽培と広い株間を確保することで、水害リスクを軽減し、収穫量を確保している。

## マコモの茎葉をサイレージ化

岡山県浅口市のおかやま山陽高等学校・進学コースの地域探究班は、マコモの茎葉をサイレージ化して飼料として活用している。

## ウェブで利用できる作物家系図

農研機構と情報・システム研究機構は、作物家系図のウェブ版を開発した。品種の遺伝的関係や特性を簡単に調べることができる。

## 微生物の力を引き出す

農園芸肥料シリーズを「サカタマモル」へパッケージとウェブをリニューアル。微生物の力を活用した肥料の開発が進んでいる。

## ニンジン新品種「アロマ809」

株式会社トーホクは、春まきで安定した早生性を示すニンジン新品種「アロマ809」を発売した。味と見た目が良く、収穫量も安定している。

## 新製品紹介

株式会社セーブは、初心者でも簡単に決算書を作成できる農業版「らくらく青色申告農業版2023年版」を発売した。

## 業界短評

株式会社サカタのタネは、植物の健全な生育をサポートする農園芸肥料「高機能液肥」シリーズをリニューアルした。

## 微生物 共生/土壌改良型に大別

微生物はそれぞれ固有の特性があり、好適条件(共生や寄生、エサ、水分、温度)は種類により異なる。共生型と土壌改良型に大別される。

AM菌は特定の植物と共生し、植物側から光合成産物を受け取る代わりにリン酸の吸収を助ける。土壌改良型は、土壌環境を整える。

バイオスティミュラントとして、発根力向上、ストレス耐性向上に効果的。

AM菌は特定の植物と共生し、植物側から光合成産物を受け取る代わりにリン酸の吸収を助ける。土壌改良型は、土壌環境を整える。

### 「らくらく青色申告農業版 2023年版」

株式会社セーブは、初心者でも簡単に決算書を作成できる農業版「らくらく青色申告農業版2023年版」を発売した。主な特徴は①インボイス制度(適格請求書等保存方式)に対応②複式簿記の知識がなくても、簡単に記帳可能③摘要機能により家計分と農業分を自動で案分計算できる④償却資産台帳を入力すれば、減価償却費が自動計算でき、消費税計算書も簡単に作成できる。メーカー希望小売価格(税込み)は8800円、更新版は23年3月まで4400円、4月以降は5500円。問い合わせ先=株式会社セーブ(〒997-0804 山形県鶴岡市斎藤川原字間々下116の1 ☎0235-24-7388)まで。

### ニンジン新品種「アロマ809」

株式会社トーホクは、春まきで安定した早生性を示すニンジン新品種「アロマ809」を発売した。主な特徴は①根長は17~18センチくらいで、尻詰まりが良く、やや肩が張る円筒形②黒葉枯れ病やシミ症に強く、裂根が少ないことから収量が安定③冷涼地の夏秋どりも可能——など。適作型は、冷涼地(北海道南部から東北)は3月まきトンネル栽培から4月中旬まきベタ掛けで、北海道は6月まき。中間地は1月下旬から2月まきトンネル栽培と8月中旬まき、暖地は1月まきトンネル栽培、8月下旬から9月上旬まき。問い合わせ先=株式会社トーホク(〒321-0985 栃木県宇都宮市東町309 ☎028-611-5050)まで。

### 農研機構と情報・システム研究機構は1月26日、育種関係者向けの作物家系図のウェブ版を開発した。

### ウェブで利用できる作物家系図 稲・イチゴなど5品目で運用開始

農研機構と情報・システム研究機構は、育種関係者向けの作物家系図のウェブ版を開発した。品種の遺伝的関係や特性を簡単に調べることができる。稲・イチゴなど5品目で運用開始。

### 岡山県浅口市のおかやま山陽高等学校・進学コースの地域探究班は、マコモの茎葉をサイレージ化して飼料として活用している。

### マコモの茎葉をサイレージ化

岡山県浅口市のおかやま山陽高等学校・進学コースの地域探究班は、マコモの茎葉をサイレージ化して飼料として活用している。

### 農研機構と情報・システム研究機構は1月26日、育種関係者向けの作物家系図のウェブ版を開発した。

### ウェブで利用できる作物家系図 稲・イチゴなど5品目で運用開始

農研機構と情報・システム研究機構は、育種関係者向けの作物家系図のウェブ版を開発した。品種の遺伝的関係や特性を簡単に調べることができる。稲・イチゴなど5品目で運用開始。

### 農研機構と情報・システム研究機構は1月26日、育種関係者向けの作物家系図のウェブ版を開発した。

### ウェブで利用できる作物家系図 稲・イチゴなど5品目で運用開始

農研機構と情報・システム研究機構は、育種関係者向けの作物家系図のウェブ版を開発した。品種の遺伝的関係や特性を簡単に調べることができる。稲・イチゴなど5品目で運用開始。

### 植物の力を引き出す 成分微生物の効果

### 微生物 共生/土壌改良型に大別

微生物はそれぞれ固有の特性があり、好適条件(共生や寄生、エサ、水分、温度)は種類により異なる。共生型と土壌改良型に大別される。

### 農園芸肥料シリーズを「サカタマモル」へパッケージとウェブをリニューアル

### 業界短評

株式会社サカタのタネは、植物の健全な生育をサポートする農園芸肥料「高機能液肥」シリーズをリニューアルした。

### 微生物 共生/土壌改良型に大別

### 表 微生物の主な働き(まとめ)

共生型	土壌改良型
AM菌	バチルス菌
リン酸の吸収サポート	土壌団粒化
チッ素の供給サポート	酵母・乳酸菌
※マメ科に共生	土壌環境を整える
トリコデルマ	放線菌
根圏ガード	糸状菌と拮抗

### 微生物 共生/土壌改良型に大別

### 表 微生物の主な働き(まとめ)

AM菌は特定の植物と共生し、植物側から光合成産物を受け取る代わりにリン酸の吸収を助ける。土壌改良型は、土壌環境を整える。